

R7 3年探究講座(国際探究分野)(7/1実施) 生徒アンケート 集計結果

質問	回答番号					合計	割合
	①	②	③	④	⑤		
Q1 本講座は面白かったですか？	面白かった	どちらかといえば面白かった	どちらともいえない	どちらかといえば面白くなかった	面白くなかった	23	
Q2 本講座の内容は理解できましたか？	理解できた	どちらかといえば理解できた	どちらともいえない	どちらかといえば理解できなかった	理解できなかった	23	
Q3 本講座への参加で、地域と世界のつながりに対する興味・関心はどのように変わりましたか？	受講前も興味・関心はあり、受講後はもっと興味・関心が増加した	受講前も興味・関心はあり、受講後もあまり変わらない	受講前は興味・関心はなかったが、受講後は興味・関心をもつようになった	受講前は興味・関心はなかったが、受講後もあまり変わらない	受講前よりも興味・関心はなくなった	23	
Q4 本講座への参加で、受講前よりも理解が深まったり、興味関心が増したりした分野がありましたか？	たくさんあった	いくつかあった	あまりなかった	全くなかった	よくわからない	23	
Q5 本講座への参加で、世界の諸問題の解決に向けて自身も取り組もうという意欲はどうなりましたか？	受講前も意欲はあり、受講後も意欲が高まった	受講前も意欲はあり、受講後もあまり変わらない	受講前は意欲がなかったが、受講後は意欲がわいた	受講前は意欲がなかったが、受講後もあまり変わらない	受講前よりも意欲がなくなった	23	

Q6 本講座へ参加した感想や意見などを自由に書いてください

- ・これからもお二人には頑張ってくださいと思いました
- ・ジェンダーだけでなく、マイノリティの人々と共に社会を作っていくことが大事だと感じた。また、ゴールデンサークルを持って行動するというお話も印象に残った。知識を取り入れるだけでなく、行動して自分の経験にしていきたい。
- ・海外で平和に向けて自ら行動する波多野さんの生き方がカッコ良いなと思いました。なぜそれをやるのかという理由を大切に物事をやりたいと思いました。
- ・貴重な体験ありがとうございました
- ・国際情勢や、内閣府の仕事、海外で経験したことなど、なかなか聞くことができない貴重なお話を聞くことですごく興味深かったです。今まで、国際情勢のことを知ろうとか、世界での女性の立場を考える機会がなかったの、詳しく知って一人ひとりが平和を作っていく主体なんだと考えることや、「男性だから」「女性だから」というレンズでみないことが世界平和の鍵になるということも知ることができたので、これからは世界平和への意識と世界を知る目をもって過ごしていきたいです。
- ・今回の講座では内閣府国際平和協力本部事務局についてと波多野さんの経歴と女性の社会参画についてのお話をしていただきました。そのお話の中で実際にまだ慰安婦問題のようなことが現実で起きていることや日本の女性参画はまだまだ世界でワーストレベルであることなど改めて知ることが多々ありました。私はこのような自体に陥っているその国もですが我々先進国にもその責任はあると考え、グローバルの中で他を認識し、生きることが大切だと思いました。
- ・今現在平和な日本に暮らしては分からない紛争地域でのジェンダーの実情を知って、知見が広がってよかった。
- ・自分が将来やりたいと思っていることと重なる部分が多かったこともあり、様々な経験に基づくお話を聞いてこれからの自分の意識を改めて新しく形作るような貴重な体験となりました。
- ・実際に現地に行って、体験して対話することが大切なのだとわかりました。本日はありがとうございました。
- ・色々な生き方があって面白い！世界の現状を知れて良かった！
- ・世界の紛争や戦争、その解決について理解を深めることができた。SDGsなどでいろいろ言われているけど、実際解決するのは思ったよりも大変なこと多いのだと思った。
- ・世界平和を想像ができず抽象的に考えてたんですけど実際に聞いてみることができることはいいことというところと色々なアプローチの仕方があることに気づけました。
- ・波多野さんのお話、経験談、理論は私が想像していたよりも遥かに面白いものでした。私も国際協力に関心がありましたが、今日の講演でより目指したいという気持ちが強まりました。また、話がズレますが、最後の方で進学に対する冷却効果についてはまさにそうだなと思いました。家庭事情はみんな色々ありますが、私もまあ地元にはほしいだのそんな頭いいとこいけるのかだの言われて一番理想としていたところを諦めたので、そして、自分で情報を取りに行くというのは本当に大切なんだなと感じさせられました。どの道に進んでも夢は大事にしたいと思いました。
- ・量的な幸福と質的な幸福をどう両立していくべきなのかもっと深く考えてみようと思いました。